

(8) 外部委託を実施しない理由




外部委託していない業務について、委託しない理由を聞いた結果は表13のとおりであり、全般的な傾向として、「委託を検討したことがない」との回答が多かった。

次に、問2において「今後委託する意向がある」と回答した病院だけをとってみると、「適当な委託先がない」ことを理由としている割合が高かった。特に人材教育に関しては、委託の意向が最も大きい業務だが、適当な委託先がないとの回答も最大であった。医療事務については、「マイナスの影響が生じるおそれがある」の割合が他の業務と比較して最も高かった。

《表13》問8 外部委託しない理由(単位%、複数回答)

外部委託しない理由 業務種類	プラスの効果が 見込めない	マイナスの影響が 生じるおそれがある	適当な委託先がない	委託を検討したことがない	その他
総務・庶務(N=653)	21.1	10.6	3.4	61.4	2.9
うち委託意向あり(N=15)	13.3	20.0	20.0	33.3	13.3
一般経理・会計(N=502)	20.3	12.4	3.2	60.0	3.8
うち委託意向あり(N=23)	13.0	17.4	26.1	21.7	17.4
税務申告(N=191)	15.2	6.8	2.6	60.7	6.8
うち委託意向あり(N=8)	12.5	25.0	12.5	50.0	0.0
医療事務(N=541)	24.6	22.2	10.7	33.8	7.2
うち委託意向あり(N=92)	20.7	28.3	26.1	7.6	14.1
人事関連(N=603)	19.2	12.1	5.8	56.2	4.0
うち委託意向あり(N=35)	17.1	22.9	11.4	34.3	20.0
人材教育(N=601)	13.1	3.3	24.5	46.6	6.3
うち委託意向あり(N=152)	9.2	3.9	52.0	15.1	8.6
福利厚生(N=620)	16.0	2.3	8.4	63.9	3.7
うち委託意向あり(N=46)	6.5	4.3	26.1	41.3	10.9
医業経営コンサルティング(N=543)	18.8	5.9	12.2	51.6	5.9
うち委託意向あり(N=102)	14.7	13.7	29.4	25.5	9.8
院内情報コンピュータシステム(N=454)	18.5	3.7	14.1	49.1	7.7
うち委託意向あり(N=104)	18.3	6.7	29.8	20.2	14.4

医療情報サービス(N=643)	16.0	1.7	14.2	56.5	4.5
うち委託意向あり(N=117)	17.9	3.4	26.5	33.3	6.0
広報活動(N=576)	17.4	1.7	12.3	55.6	5.4
うち委託意向あり(N=121)	17.4	0.8	29.8	30.6	8.3
院内物品管理(N=625)	19.7	7.2	10.7	50.4	6.2
うち委託意向あり(N=70)	10.0	10.0	34.3	12.9	20.0
施設管理(N=448)	19.4	4.5	15.2	49.3	6.5
うち委託意向あり(N=77)	15.6	1.3	41.6	19.5	15.6
警備保障(N=488)	20.3	8.6	10.2	49.4	7.8
うち委託意向あり(N=79)	20.3	11.4	29.1	20.3	16.5
自動車管理(N=589)	18.3	2.7	7.3	60.4	6.5
うち委託意向あり(N=57)	14.0	1.8	35.1		14.0

(注)  =20%以上の回答を得た選択肢、以下  =30%以上、 =40%以上

(9) 業務種類ごとの特徴(全設問を通じて)

前節までは、アンケート調査票の設問ごとに結果を分析してきたが、本節では、全ての設問に対する結果をもとに、いくつかの業務についての特徴を分析した。

一般経理・会計、税務申告

これらの業務は、他の業務と比較して委託率が高く、外部委託による成果も高く評価されている。委託によるプラス効果としては、「業務の質の向上」、「業務の迅速化」、「職員が本来の業務に集中できる」に対する評価が高く、マイナス面として特に目立つものはない。外部委託にあたっての準備、質の管理は、「委託先事業者の評判を確認した」、「委託先を定期的に見直している」が中心である。

上記の結果から、これらの業務においては、外部の専門的知識に対する信頼度が強く、外部委託が比較的有効に機能していると考えられる。

医療事務

医療事務の委託率は21.3%とそれほど高くはないが、規模の大きい病院ほど委託率が高くなる傾向があった。プラスの効果としては、「人員の不足・過剰に対応しやすい」、「経費の削減」、「労務管理の軽減」、「固定費の変動費化」についての評価が高く、必要な人材を柔軟に利用できることによる利便性や、経済的な側面の効果について評価が高い。しかし、マイナス面では「業務の質の確保に不安がある」が他の業務と比較して最も多く、委託成果に対する全般的な評価も最も低い。これらの結果を見ると、医療事務の外部委託においては、プラスの効果に対する期待が大きい反面、実際に委託している病院では問題が生じているケースも多いと考えられる。

外部委託にあたっての準備や、質を管理するための方策については、他の業務と比較して実施されている事項が多い。また、委託しない理由として「マイナスの影響が生じるおそれがある」が多く挙げられている点が特徴である。これらの結果から、医療事務の外部委託においては業務の質に対する関心が高いことが伺える。

院内情報コンピューターシステム

他の業務と比較して、院内情報コンピューターシステムの委託率は高い。プラスの効果としては、「職員が本来の業務に集中できる」、「業務の質の向上」、「業務の迅速化」が多く挙げられたものの、マイナス面では「緊急時などに融通が利かない」が多く、成果に対する全般的な評価は低い。委託準備の面では、「複数の事業者の料金を比較した」が目立ち、実施された準備事項の数も他の業務と比較して多かったが、質の管理については実施されている事項が少なかった。

院内情報コンピューターシステムには専門的な知識が必要とされるため、外部委託に対する注目度は高い。しかし、高額な費用がかかり、成果に対する期待が大きい反面、必ず

しもそれが充足されていないと考えられる。

院内物品管理

委託率、今後委託する意向とも他の業務と比較して高くない。しかし、外部委託の成果に対する全般的な評価としては、成果は期待以上であるとの回答の割合（9.5%）が他の業務と比較して高かった（ただし、未回答等の不明分が27.0%と高い点には注意を要する）。プラスの効果としても「在庫の適正化」、「スペース不足の解消」、「経費の削減」、「固定費の変動費化」等、多くの事項が選択されており、目立ったマイナス面はなかった。外部委託にあたっての準備や質の管理については、他の業務と比較して実施されている事項が最も多い。このように、院内物品管理の委託率は低いが、委託している病院においては効果が上がっており、影響も大きい業務であることが伺える。

施設管理、警備保障

他の業務と比較して、これらの業務の委託率は高く、委託成果に対する評価も高い。プラスの効果としては、「職員が本来の業務に集中できる」、「労務管理の軽減」、「経費の削減」が多く挙げられている。

委託の準備においては「複数の事業者の料金を比較した」、「事業者の評判を確認した」が多く、質の管理については「業務の標準化」、「委託先を定期的に見直している」が多い。

これらの結果から、施設管理や警備保障の外部委託では、ある程度の準備、質の管理を実施していれば、成果が期待できる業務であると考えられていることが推測される。ただし、警備保障については「業務の質の確保に不安がある」とのマイナス面が多く挙げられており、事故時の対応、患者に対する接遇の面で不満を持つ病院が多いことが伺える。